

VILLAGE

VDデスク

コネクシェルフ

片面タイプ 1200W●8VDR2S

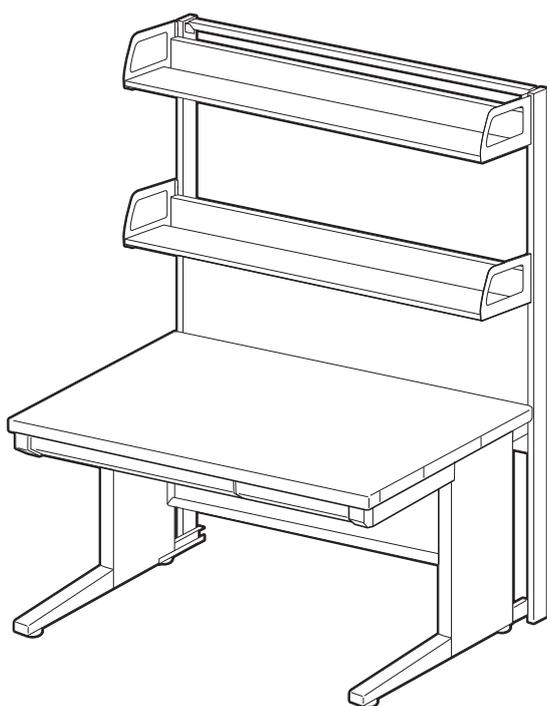
1400W●8VDR4S

両面タイプ 1200W●8VDR2W

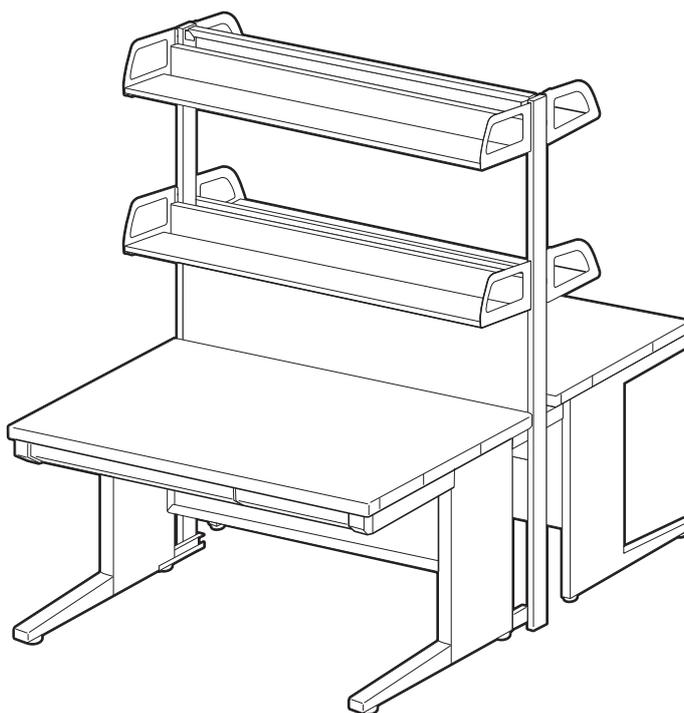
1400W●8VDR4W

組立・取扱説明書

このたびはビラージュ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書は正しくお使いいただくためのガイドブックです。
組み立てる前に必ずこの説明書をよくお読みいただき、正しく組み立ててください。
また、常にお手元においてご使用されることをお勧めします。



片面タイプ 1200W●8VDR2S



両面タイプ 1200W●8VDR2W

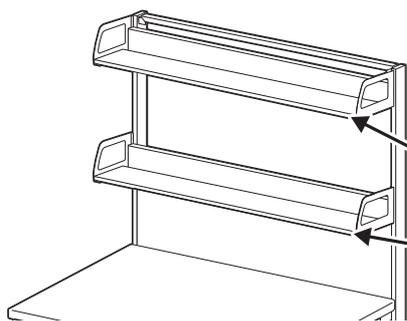
※デスクは別売りです

目次

安全にお使いいただくために	2
転倒防止のためのお願ひ・各部の名称	3
コネクシェルフ片面タイプ 部品明細・組立方法	4～10
コネクシェルフ両面タイプ 部品明細・組立方法	11～13
組み立てられないときは	14
保証の明細	16

安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠ 注意 この表示は、誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。



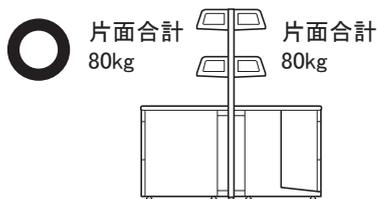
■注意ラベルの説明

- この製品には使用者の生命、身体への危害や損害を防ぐ目的として下記注意ラベルが貼ってありますので、注意事項をお守りになってご使用ください。
- 注意ラベルは絶対に破ったり、傷つけたり字を消したり剥がしたりしないでください。

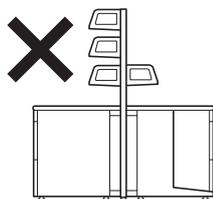
⚠ 注意

最大積載質量(40kg)を超えるものを置かないでください。
物が落ちて、けがをするおそれがあります。
okamura

棚板には最大積載質量を超えるものを載せないでください。また片面に取り付ける棚板は、付属の2枚までとしてください。転倒や破損の恐れがあります。



棚板は片面2枚までにしてください。



棚板最大積載質量=40kg(等分布質量)
(棚板1枚あたり)

*等分布質量とは……

均等に質量を載せることを意味します。部分的に偏った質量を載せるとバランスが崩れ、落下や転倒の恐れがあります。

⚠ ご注意

この製品を事務用以外の目的で使用することは
ご遠慮ください。

- 本製品を踏み台がわりに使用したり、上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。転倒したり、棚板がはずれてケガをする恐れがあります。

分解・修理はしないでください。

- お客様での分解・修理は大変危険ですので、必ず弊社販売窓口までご連絡ください。
- ボルトやネジが緩んだまま使わないでください。本体が壊れてケガをする恐れがあります。

改造はしないでください。故障や事故の原因となります。

- お客様による改造は、故障の原因となります。また、その場合の責任は弊社として負いかねます。
- 改造が必要な場合は、事前に弊社販売窓口までご連絡ください。

可動部分・スキマには、指や手を入れないでください。

設置の際のお願い

下記事項をお守りにならなかった場合には、不具合が生じる場合があります。また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

屋内でのご使用をお願いいたします。

- 屋外や水のかかるところ等では、サビの発生など故障を引き起こす原因となりますので、使用しないでください。

直射日光の当たる場所は、変形や日焼けによる変色の原因になりますので避けてください。

- 窓際などに設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。

高温や湿気、乾燥の著しい場所は、変形や変色、カビの原因になりますので避けてください。

ストーブ・エアコンなどの熱が直接当たる場所は、変形や変色の原因になりますので避けてください。

水平を保つように設置してください。

- 設置するときは、必ず本体を水平を保つようにしてください。水平が保たれない状態で設置しますと、本体の歪み、可動部の不良の原因になります。
- アジャスターにより、床面と水平を保つように調整してください。

適切な換気の励行に関するお願い

- 購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通風を十分行なうようにしてください。
- 室内が著しく高温多湿となる場合(温度28℃、相対湿度50%超が目安)には、窓を閉め切らないようにしてください。

転倒防止のためのお願い／レイアウト上のご注意

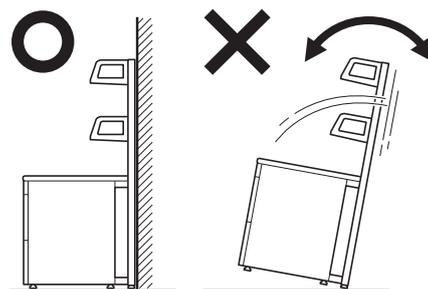
- この製品はVDデスク専用となります。ほかのシリーズには取り付けできませんのでご注意ください。
- デスク幅に合ったコネクトシェルフをお使いください。
- 1400W両袖机には取り付けできません。
- 転倒防止のために、以下の点にご確認ください。

片面タイプ

必ず壁面前に設置してください。

片面タイプ・両面タイプ共通

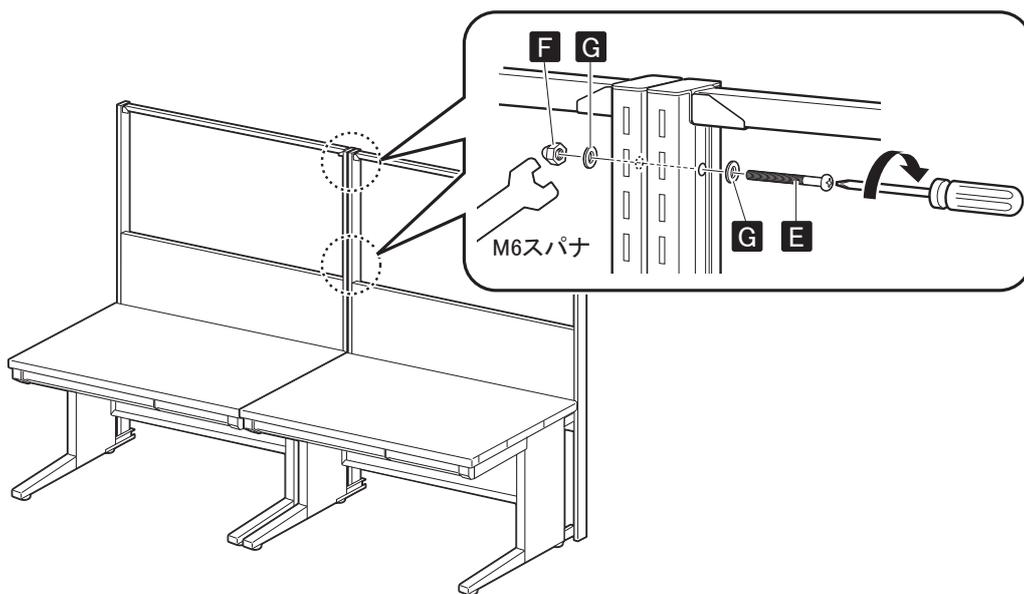
2連以上設置する場合は必ず付属のボルトとナットでコネクトシェルフの左右を連結してください。
 付属のスパナのM6のほうを使用して、ネジ **E** と袋ナット **F** に平座金 **G** をはさんで締め付けます。
 上下とも連結します。



連結に使用する付属部品

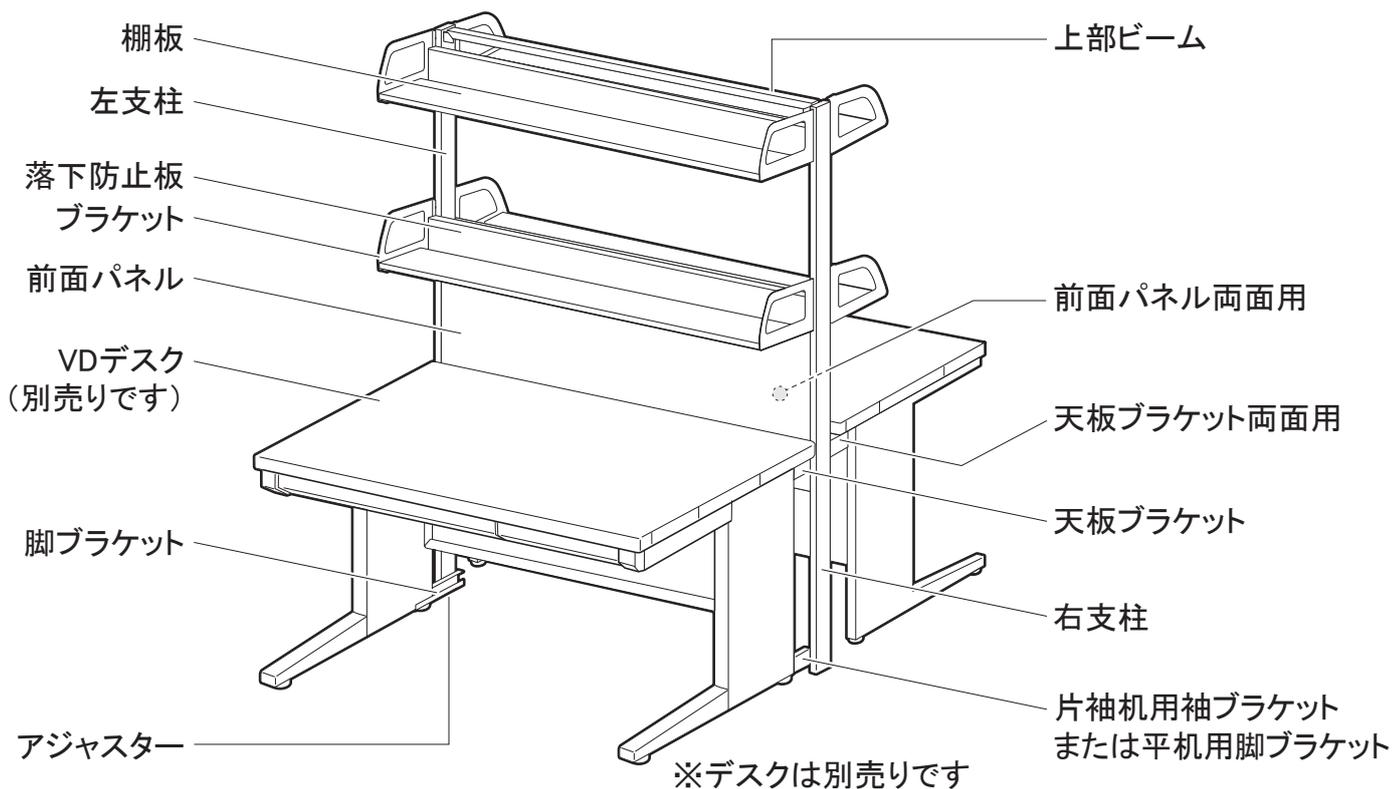
E		× 2
F		× 2
G		× 4
I		× 1

ご用意いただく工具



各部の名称

図は、コネクトシェルフの両面タイプW1200●8VDR2Wの組み立てが完了した状態です。



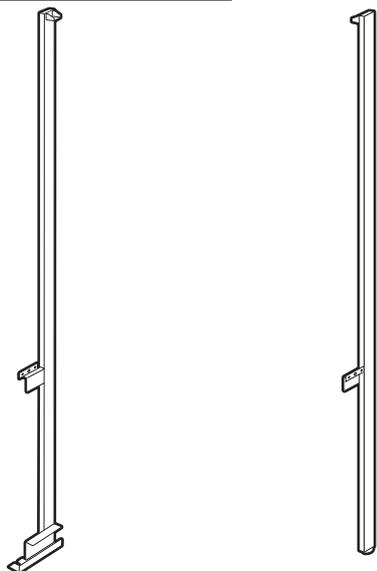
⚠ 組立上のご注意

下記の組立方法をよくお読みのうえ、二人以上で平らなところで組み立ててください。組立部品を残さず使用し、ネジは確実に締め、正しく組み立ててください。組み立てが不完全ですと転倒事故や破損の原因となり、危険です。

部品明細 [コネクシェルフ 片面用]

組み立てをはじめる前に下記部品が揃っているか確認してください。

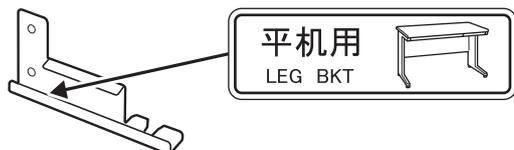
梱包品番
8VDRPLの梱包内容



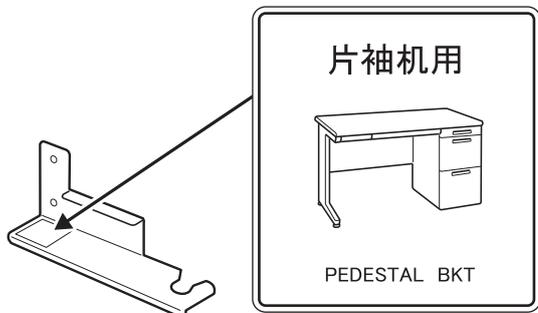
左支柱×1
(脚ブラケットが付いています)

右支柱×1

脚ブラケットには、下記のシールが付いています。取り付けるデスクによって、どちらかの脚ブラケットを使用します。



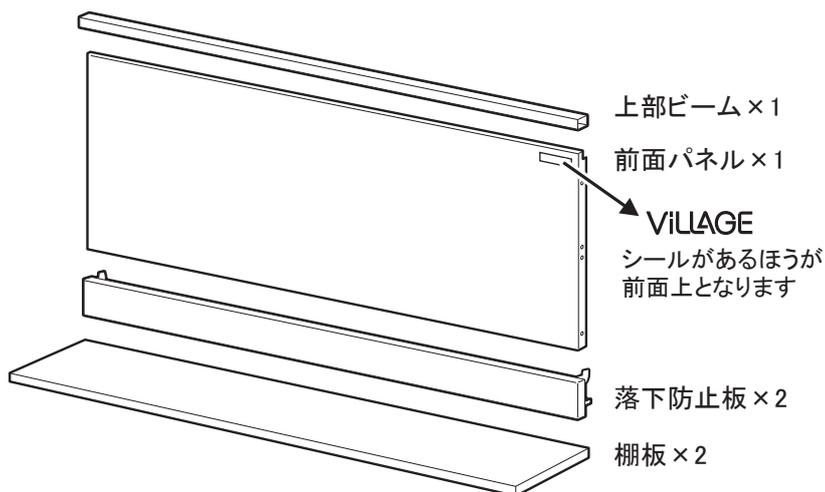
平机用脚ブラケット×1



片袖机用脚ブラケット×1



梱包品番
8VDR29(1200W)または8VDR49(1400W)の梱包内容



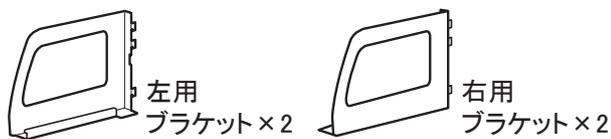
上部ビーム×1

前面パネル×1

VILLAGE
シールがあるほうが
前面上となります

落下防止板×2

棚板×2



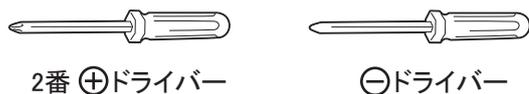
左用
ブラケット×2

右用
ブラケット×2

付属部品

使用箇所	記号	姿図	個数	部品名	大きさ
本体組立用	A		8	特殊ネジ	M6-12
	B		4	十字穴付きなべ小ネジ	M6-L15
	C		4	十字穴付きトラス小ネジ	M6-L40
	D		4	ばね座金	M6用
左右連結用	E		2	十字穴付きなべ小ネジ	M6-L60
	F		2	六角袋ナット	M6用
	G		4	平座金	
	H		8	穴塞ぎキャップ	
工具	I		1	スパナ	M5/M6

組み立てに必要な工具



2番 ⊕ドライバー

⊖ドライバー

あると便利な工具



水平器

ポイント
水平器はDIYショップにて
お問い合わせください。

組み立てをはじめる前に

コネクトシェルフの組み立てる前に、組み立て前の準備と組み立ての全体のながれを確認してください。

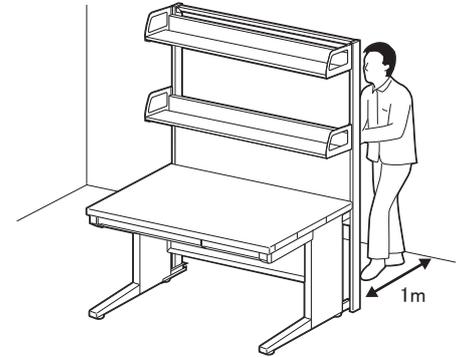
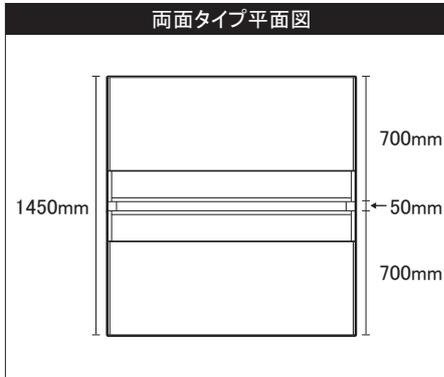
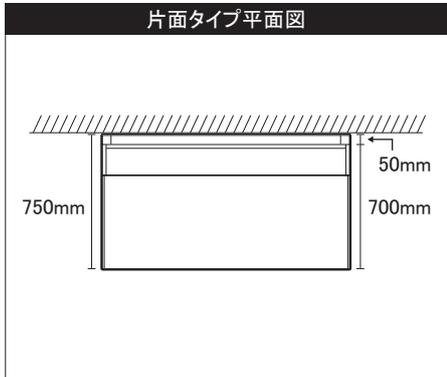
■組み立てをはじめる前の準備

●設置場所を確認します。

以下の平面図は片面タイプ、両面タイプが組みあがった寸法です。
両面タイプは組み立て後に移動することは困難ですので、あらかじめ設置場所を確認してください。



片面タイプは、後ろ側にまわって組み立てをするため、あらかじめ1mほど壁から離して組み立てを行ってください。



●デスクのアジャスターを伸ばします。

アジャスター
伸びる

アに支柱のブラケットを引っ掛けます。アジャスターが伸びていない場合は、5mm伸ばしてください。

Point! 左に3回転ほどまわすと約5mm伸びます。

注意

アジャスター調整時には、手や足を挟まないように2人以上でしっかりと支えて行ってください。

●サイドカバーを外します。

天板のサイドカバー(後)を、マイナスドライバー等を使って外します。(左右2箇所)

サイドカバー(後)

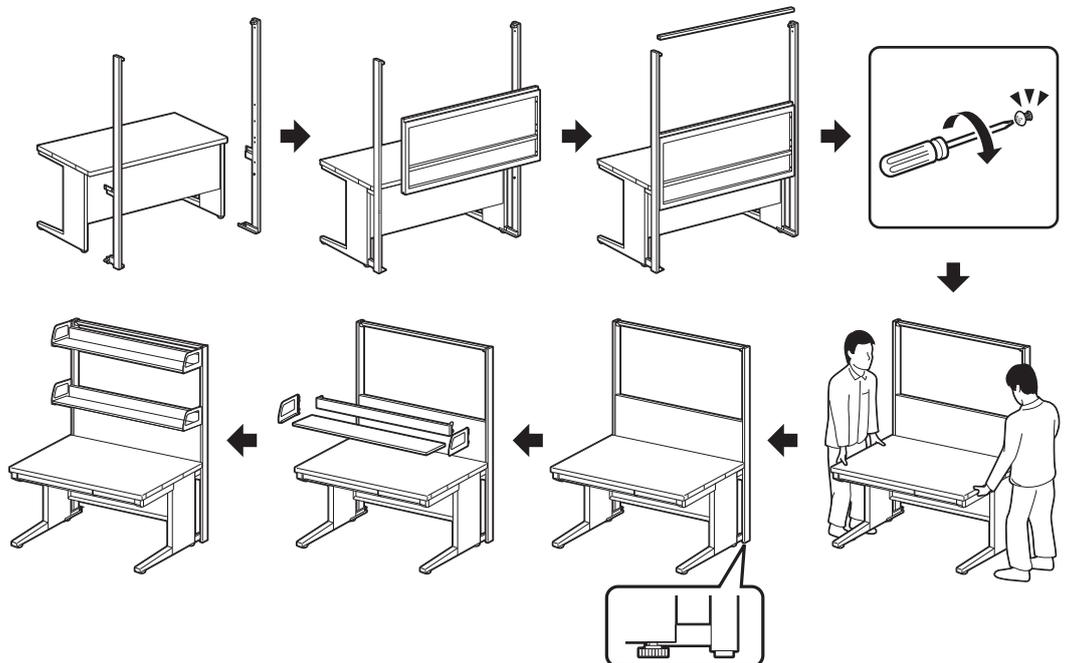
サイドカバー

机裏面

どちらかのみぞに⊖ドライバーの刃先を入れ、ねじって取り外します。

■組み立てのながれ

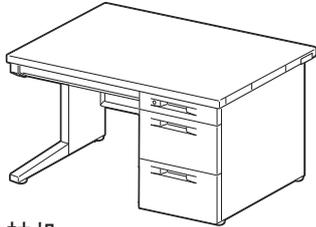
1. 支柱を取り付ける
2. 前面パネルを取り付ける
3. 上部ビームを取り付ける
4. 1、2、3で仮留めしたネジを、1、2、3の順でしっかり締め付ける
5. 2人以上でデスクを持ち上げ、引きずらないように設置場所に運ぶ
6. アジャスターを調整して水平にする
7. 複数台を連結する場合は、左右の連結をする
8. 棚板を取り付ける



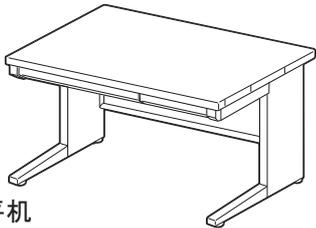
デスクの裏側にまわって組み立て作業を開始します。必ず2人以上で組み立ててください。

1 支柱を取り付ける

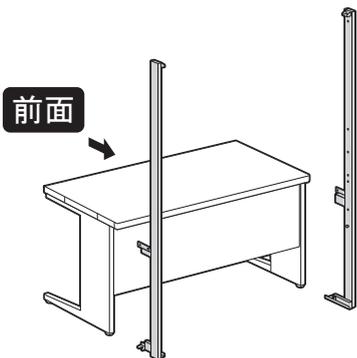
取り付けるデスクを確認してください。



片袖机



平机



前面

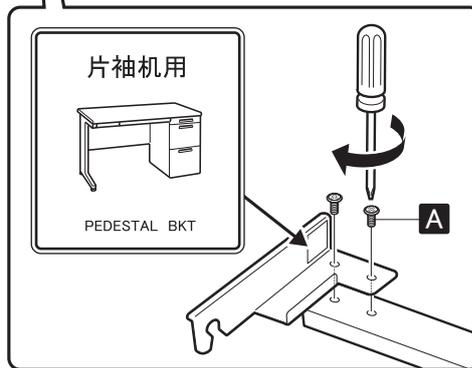
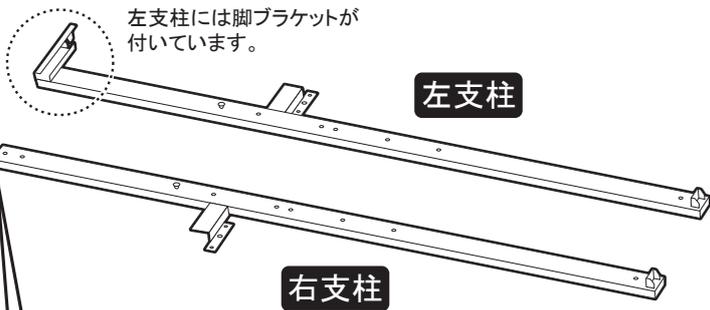
A		× 2
B		× 4



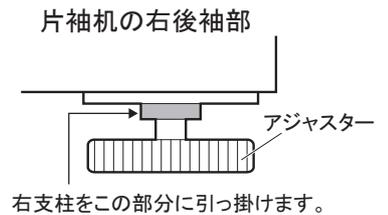
仮留めとは
ネジを最後まで締め込まないでゆるく締めておくことです。ゆがんだまま組み立てていくこと、あとでビスが入りにくくなるのを防ぎます。

片袖机に支柱を取り付ける場合

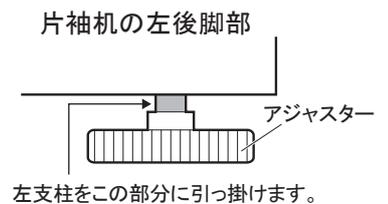
① 右支柱に、片袖机用の袖ブラケットを取り付けます。



ネジ **A** を使って袖ブラケットを取り付けます。



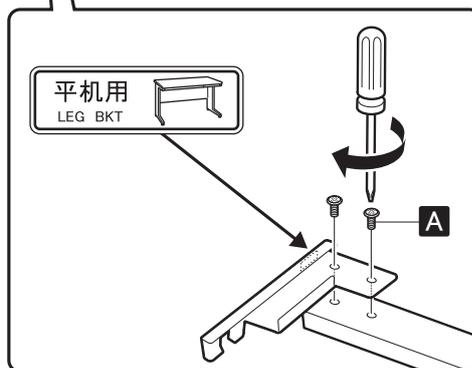
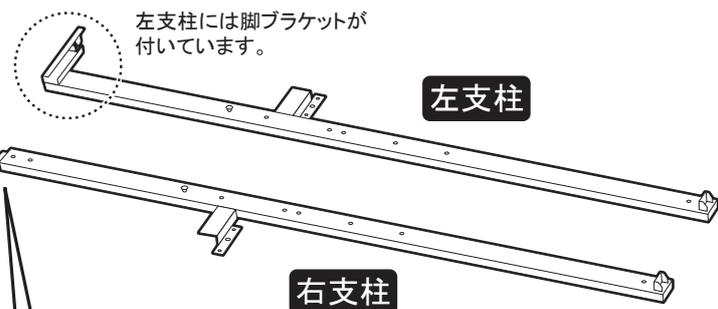
右支柱をこの部分に引っ掛けます。



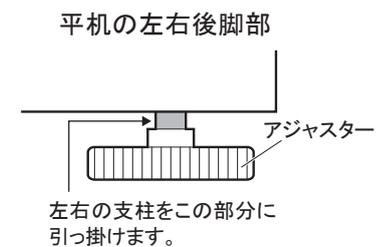
左支柱をこの部分に引っ掛けます。

平机に支柱を取り付ける場合

① 右支柱に、平机用の脚ブラケットを取り付けます。

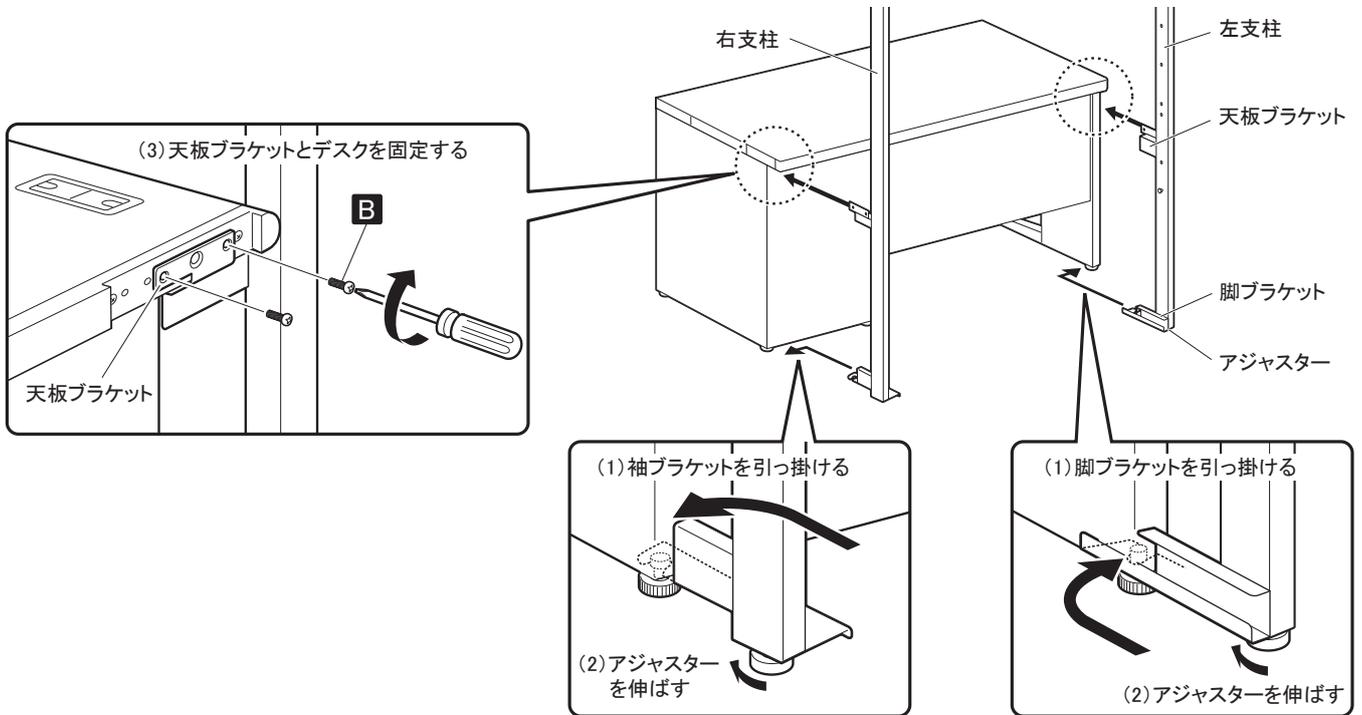


ネジ **A** を使って脚ブラケットを取り付けます。

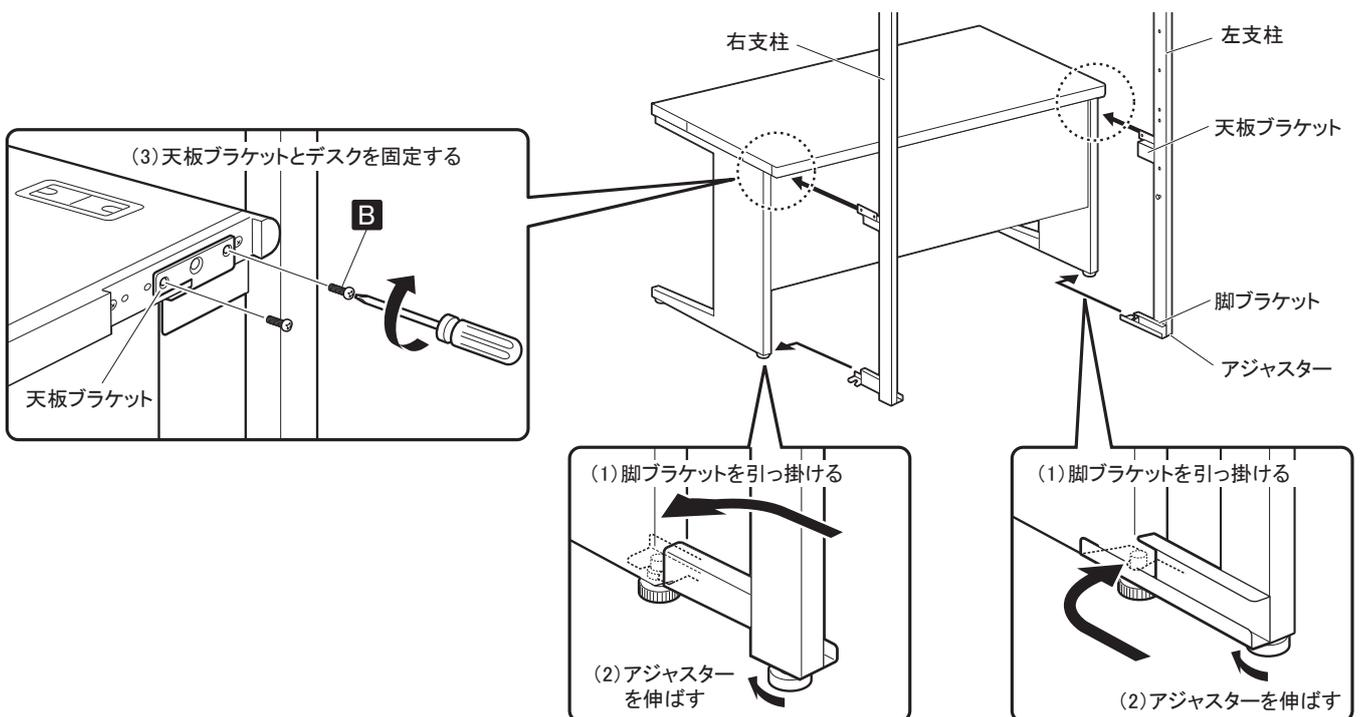


左右の支柱をこの部分に引っ掛けます。

- ②** 支柱をデスクに取り付けます。左右の支柱を(1)～(3)の順序でそれぞれ取り付けます。
- (1) 脚ブラケットと袖ブラケットを、デスクの内側からアジャスターに引っ掛けます。
 - (2) 支柱のアジャスターをデスクの高さに合わせて調整します。
 - (3) 天板ブラケットとデスクを固定します。ネジ **B** で左右2箇所ずつ仮留めします。



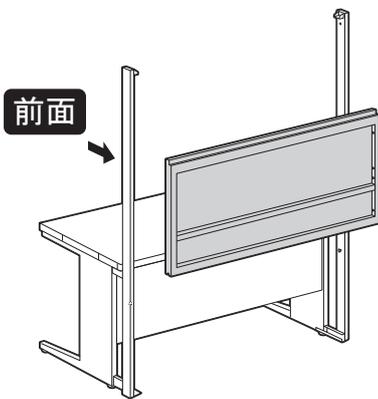
- ②** 支柱をデスクに取り付けます。左右の支柱を(1)～(3)の順序でそれぞれ取り付けます。
- (1) 脚ブラケットをデスクの内側からアジャスターに引っ掛けます。
 - (2) 支柱のアジャスターをデスクの高さに合わせて調整します。
 - (3) 天板ブラケットとデスクを固定します。ネジ **B** で左右2箇所ずつ仮留めします。



2 前面パネルを取り付ける

⚠ 注意

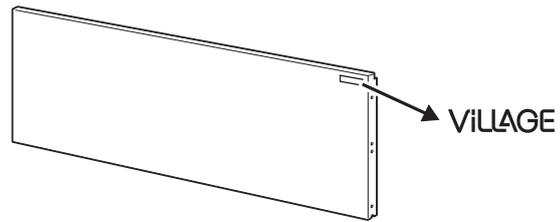
前面パネルは2人で持って作業してください。



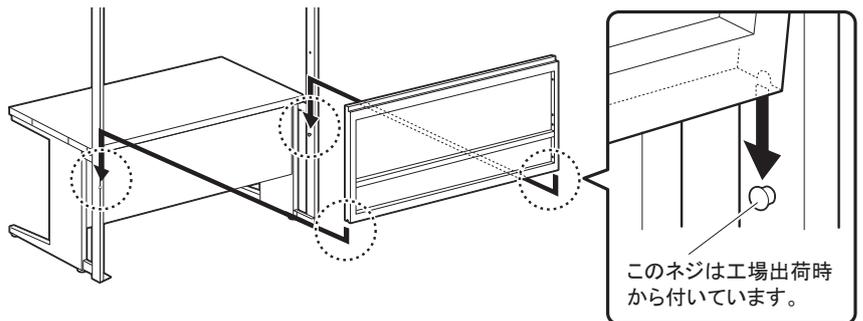
C		× 4
D		× 4

Point! 仮留めとは
ネジを最後まで締め込まないでゆるく締めておくことです。ゆるいだままま組み立てていくことと、あとでビスが入りにくくなるのを防ぎます。

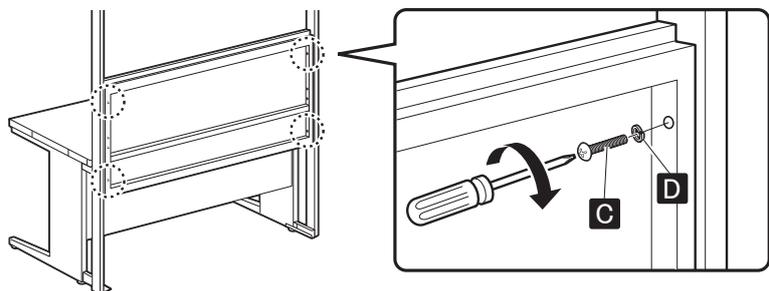
① 前面パネルの上下裏表を確認します。
VILLAGEシールは、前面から見たときに右上の位置になります。



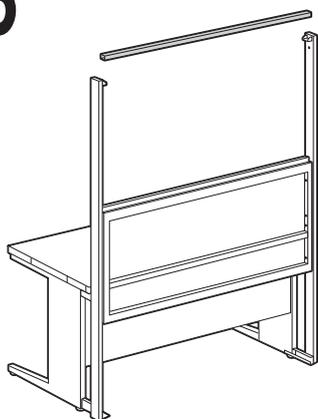
② デスク裏側にまわって、支柱に付いているネジに前面パネルの切り欠きにあわせてネジの上におきます。



③ ネジ**C**にばね座金**D**をはめて、左右2箇所ずつ計4箇所を仮留めします。

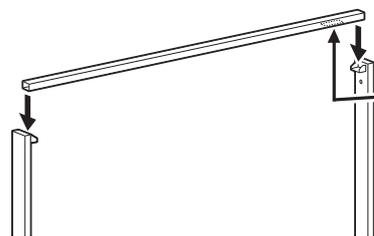


3 上部ビームを取り付ける



A		× 2
----------	--	-----

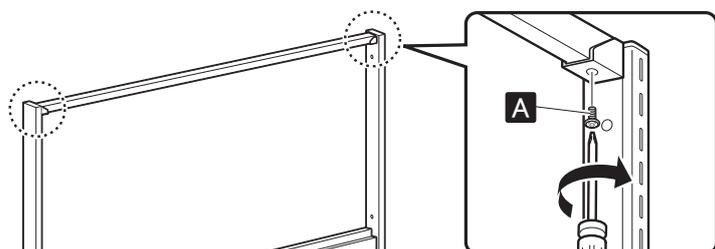
① 上部ビームを支柱に取り付けます。



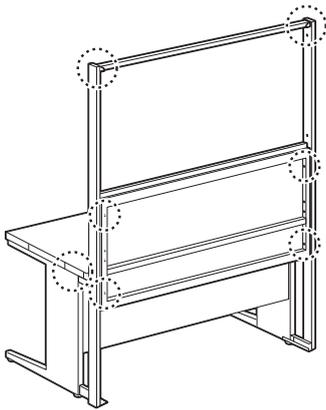
okamura	JOIFA 308
製品コード	○○○○○○○○○○
寸法	○○○W○○D○○H
製造年/ロットNo.	20○○年/12345678A
JOIFA標準使用期間	適用外

上部ビームの右側底面に、上記のシールがくるように取り付けます。

② ネジ**A**で左右1箇所ずつ仮留めします。

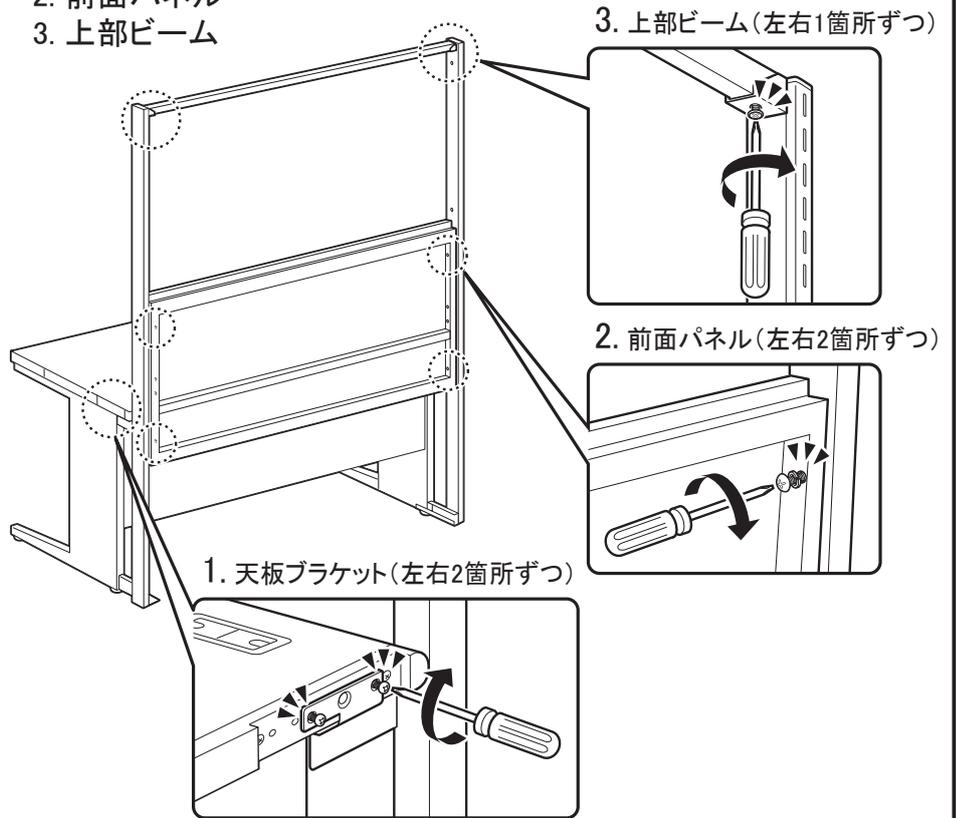


4 本締めをする



仮留めしたネジの本締めをします。以下の順でしっかりと締めこんでください。

1. 天板ブラケット
2. 前面パネル
3. 上部ビーム



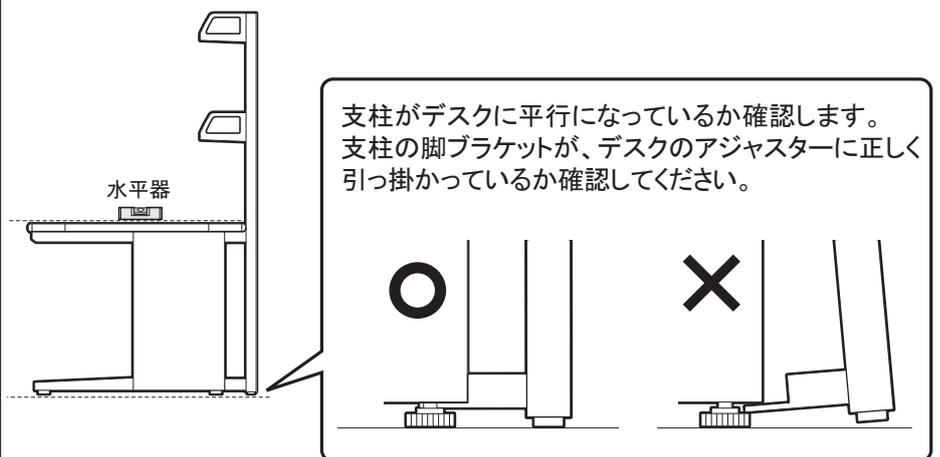
5 設置場所に運び、水平になっているか確認する



市販の水平器を使用すると、より正確に計測できます。水平器はDIYショップにてお買い求めください。



引きずらないように、2人以上で本体ごと設置場所へ運んでください。設置後に再度デスクと支柱のアジャスターを調整して、支柱とデスクが平行になっているか、また机全体が水平になっているか確認してください。



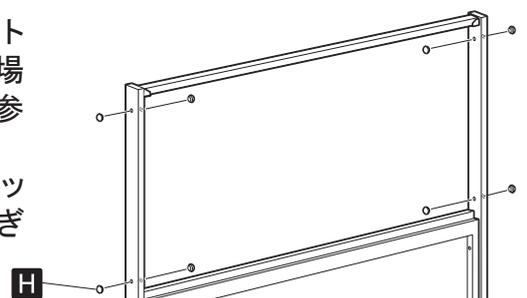
支柱がデスクに平行になっているか確認します。支柱の脚ブラケットが、デスクのアジャスターに正しく引っ掛かっているか確認してください。

6 連結する

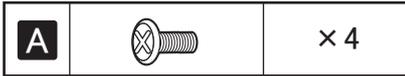
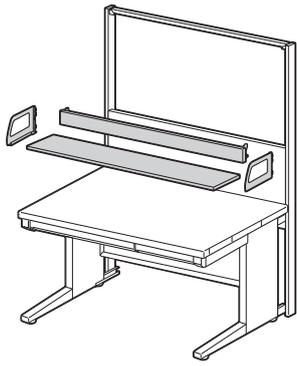
H		× 8
----------	--	-----

棚板を取り付ける前にコネク
ションシェフル同士を左右連結する
場合は、3ページの連結方法を参
照してください。

連結しない場合は、穴塞ぎキャ
ップで支柱の8箇所のネジ穴を塞ぎ
ます。

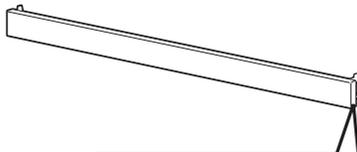


7 棚板を取り付ける



Point! 落下防止板と棚板を取り付ける前に、取り付ける向きを確認してください。

落下防止板



横から見た図

上

手前側

棚板

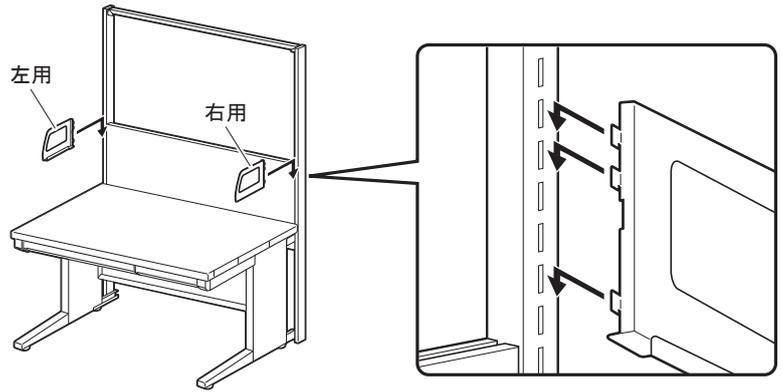
奥側

手前側

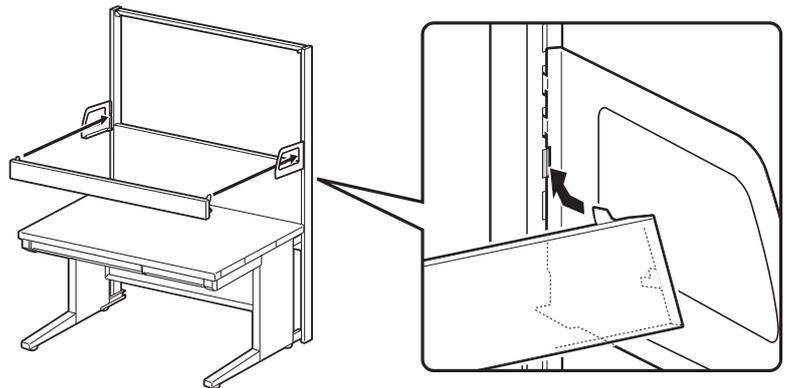
注意 最大積載質量(40kg)を超えるものを置かないでください。物が落ちて、けがをされるおそれがあります。
okamura

上記のシールが見えるほうが、手前側になります。

① ブラケットの左右を確認して、同じ高さの支柱スリットに引っ掛けます。上のツメから引っ掛けて下へ落とし込みます。



② 落下防止板を支柱スリットに引っ掛けます。



③ 棚板をブラケットに載せ、下からネジ **A** で左右1箇所ずつねじ込みます。取り付け位置を変更するときは逆の手順で行なってください。

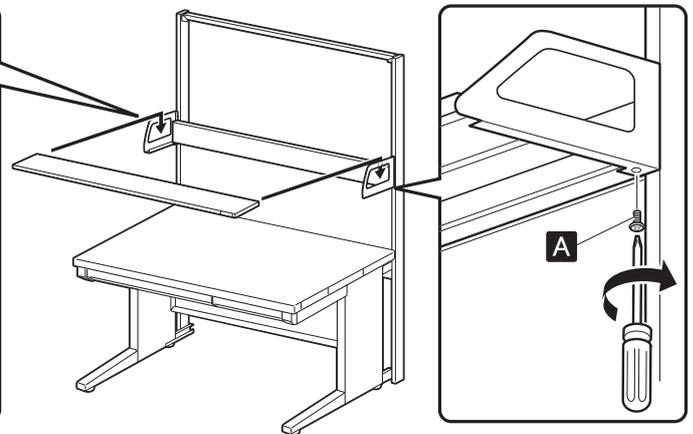
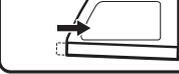
先に棚板の奥側をブラケットに載せます。



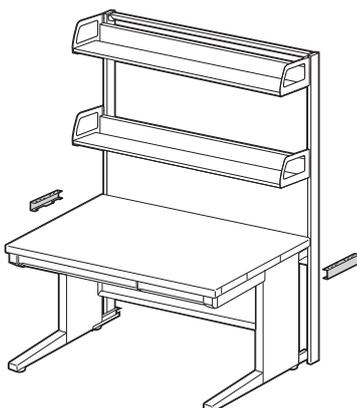
棚板の手前側を載せます。



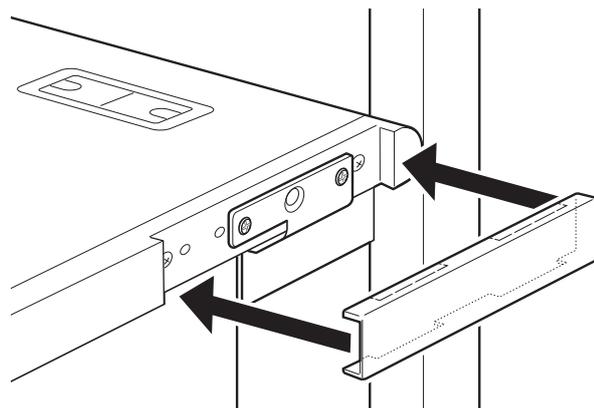
棚板を奥にスライドさせます。



8 サイドカバーを取り付ける



サイドカバーを取り付けます。

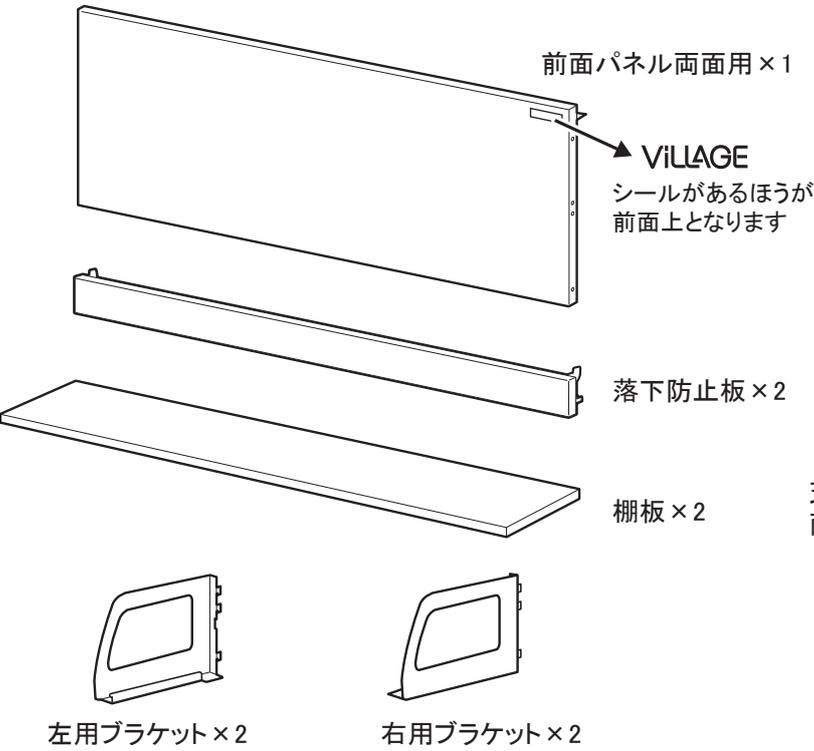


片面タイプの組み立てはこれで終了です。

コネク shelves 両面タイプ 部品明細・組立方法

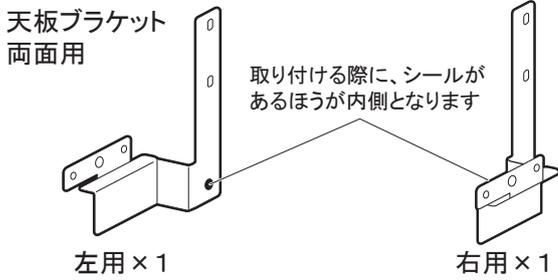
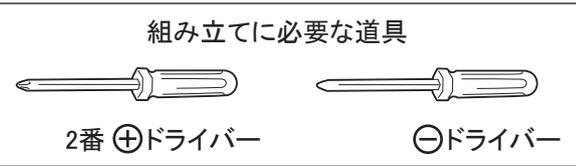
組み立てをはじめる前に下記部品が揃っているか確認してください。

梱包品番
8VDR28(1200W)または8VDR48(1400W)の梱包内容



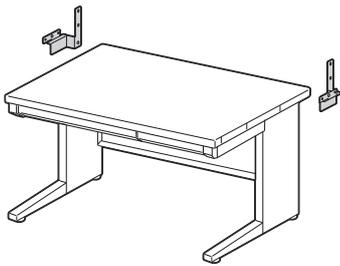
付属部品

本体組立用				
記号	姿図	個数	部品名	大きさ
A		4	特殊ネジ	M6-12
B		7	十字穴付きなべ小ネジ	M6-L15
C		4	十字穴付きトラス小ネジ	M6-L40
D		4	ばね座金	M6用



両面タイプは片面タイプに上記を追加すれば、構成できるようになっています。

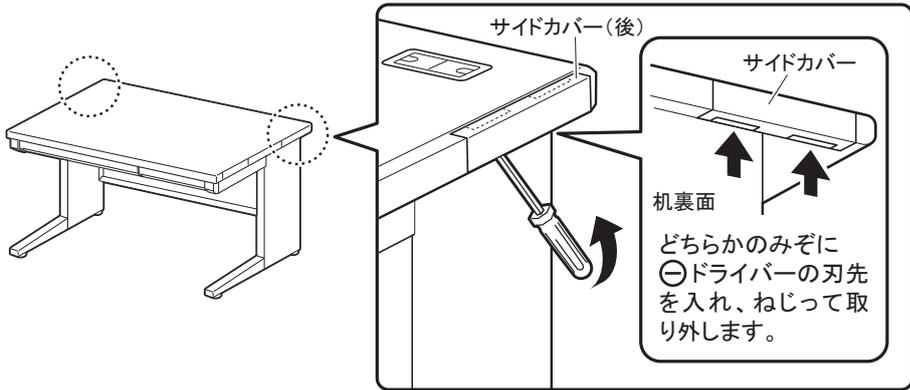
1 デスクに天板ブラケットを取り付ける



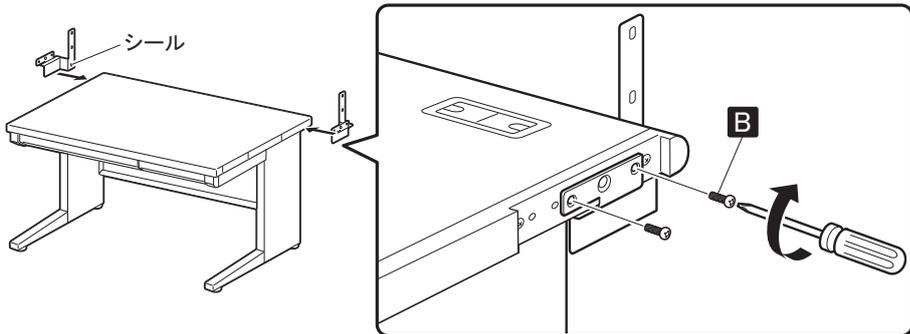
B		× 4
----------	--	-----

Point! 仮留めとは
ネジを最後まで締め込まないでゆるく締めておくことです。ゆがんだまま組まれていくことと、あとでビスが入りにくくなるのを防ぎます。

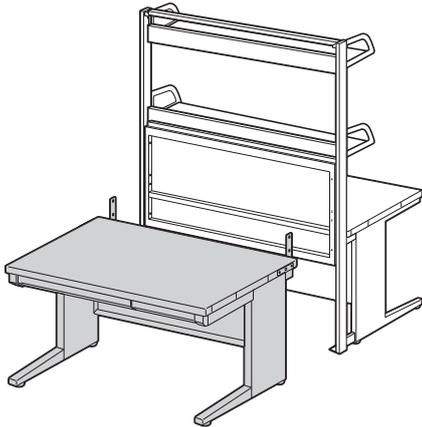
1 天板のサイドカバー(後)を、マイナスドライバー等を使って外します。(左右2箇所)



2 天板ブラケットの左右を確認して、丸いシールが内側にくるように、ネジ B で左右2箇所ずつ天板ブラケットを仮留めします。

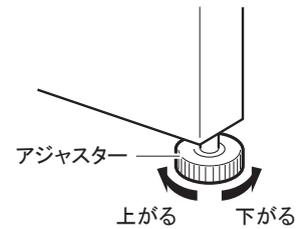
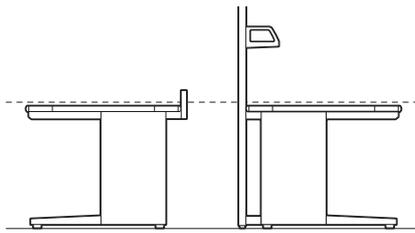


2 デスクと片面タイプを 接続する

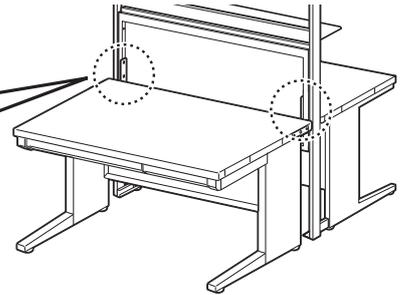
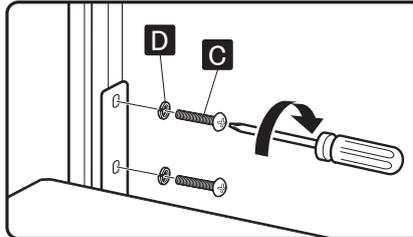


C		× 4
D		× 4

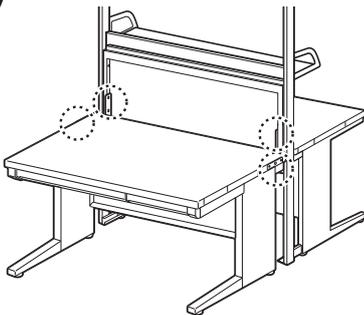
- ① デスクと片面タイプの高さが揃っているか確認します。接続する側のデスクのアジャスターを調整し、高さを揃えてください。



- ② デスクと片面タイプを合わせ、ネジ**C**にばね座金**D**をはめて左右2箇所ずつ仮留めします。

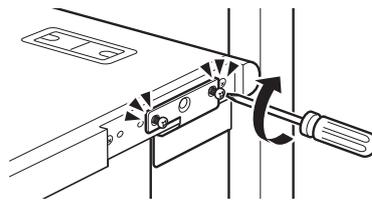


3 本締めをする

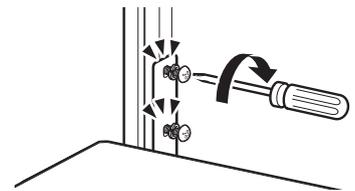


仮留めしたネジをすべてしっかりと締めこんでください。

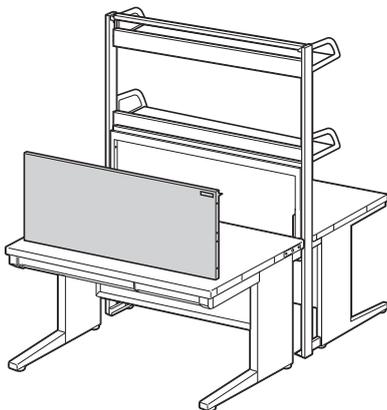
天板ブラケットのデスク側
(左右2箇所ずつ)



天板ブラケットの片面タイプ側
(左右2箇所ずつ)

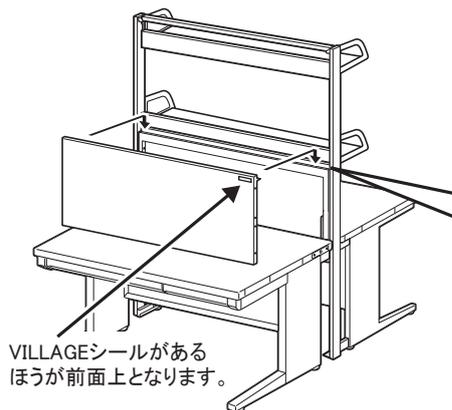


4 前面パネル両面用を 取り付ける



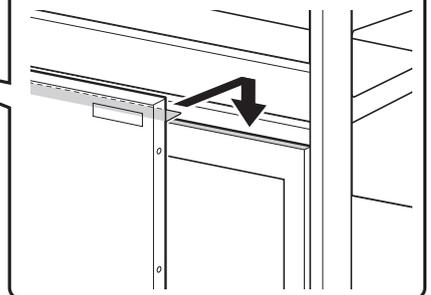
B		× 3
----------	--	-----

- ① 前面パネル両面用を取り付けます。

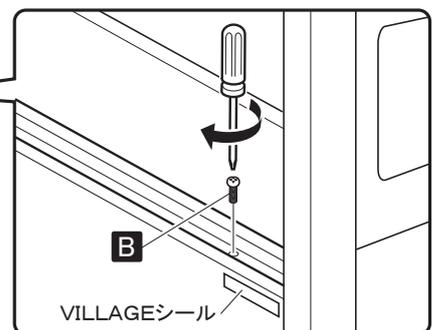
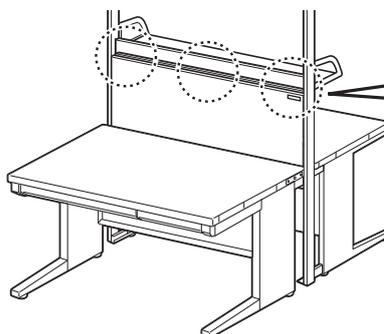


VILLAGEシールがある
ほうが前面上となります。

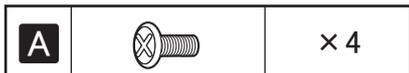
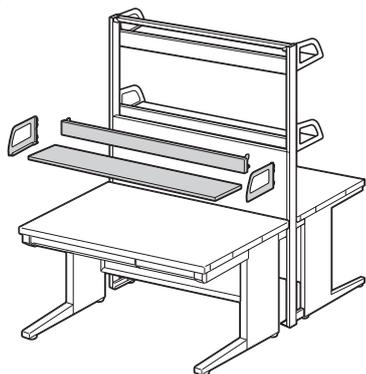
片面タイプの前面パネルの上
に載せるようにして、前面
パネル両面用をかぶせ
ます。



- ② ネジ**B**を3箇所
にねじ込みます。

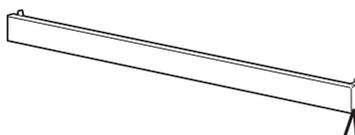


5 棚板を取り付ける



Point! 落下防止板と棚板を取り付ける前に、取り付ける向きを確認してください。

落下防止板



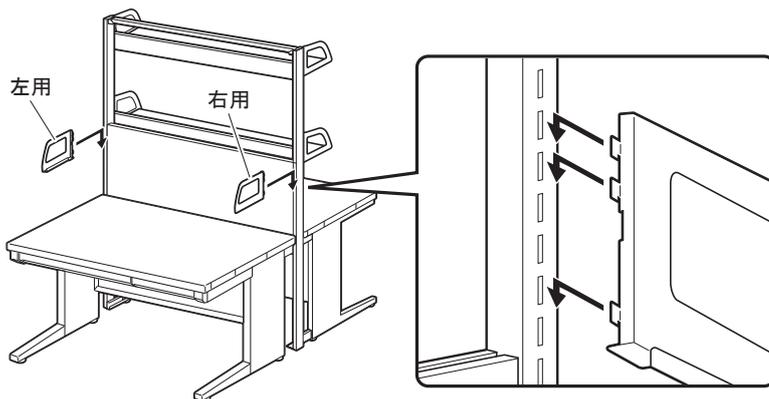
棚板



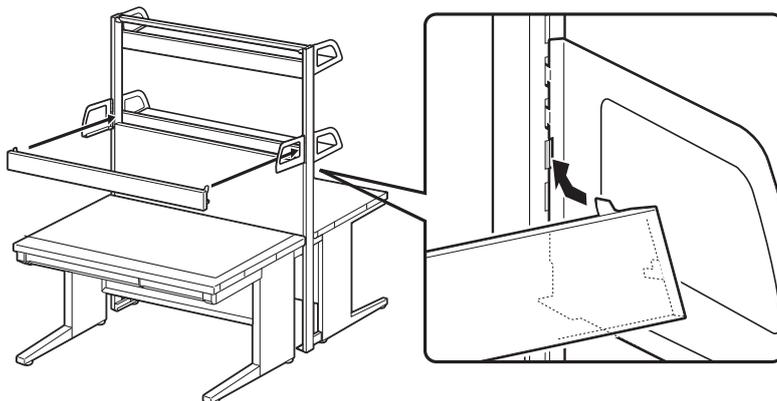
注意 最大積載質量(40kg)を超えるものを置かないでください。物が落ちて、けがをすることがあります。
OKAMURA

上記のシールが見えるほうが、手前側になります。

① ブラケットの左右を確認して、同じ高さの支柱スリットに引っ掛けます。上のツメから引っ掛けて下へ落とし込みます。



② 落下防止板を支柱スリットに引っ掛けます。

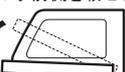


③ 棚板をブラケットに載せ、下からネジ **A** で左右1箇所ずつねじ込みます。取り付け位置を変更するときは逆の手順で行なってください。

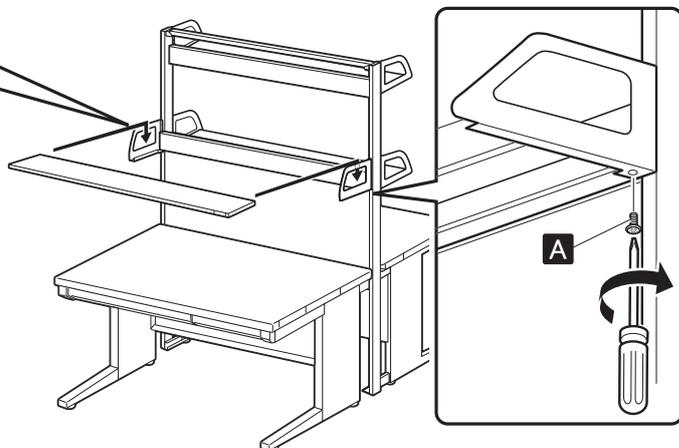
先に棚板の奥側をブラケットに載せます。



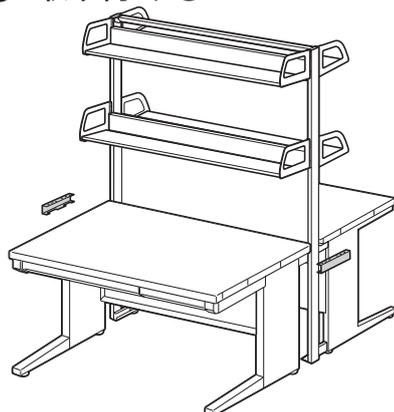
棚板の手前側を載せます。



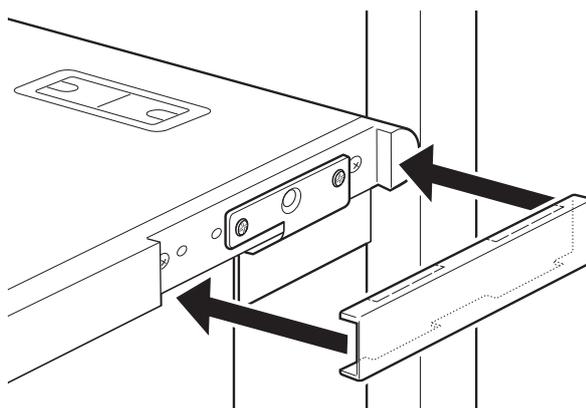
棚板を奥にスライドさせます。



6 サイドカバーを取り付ける

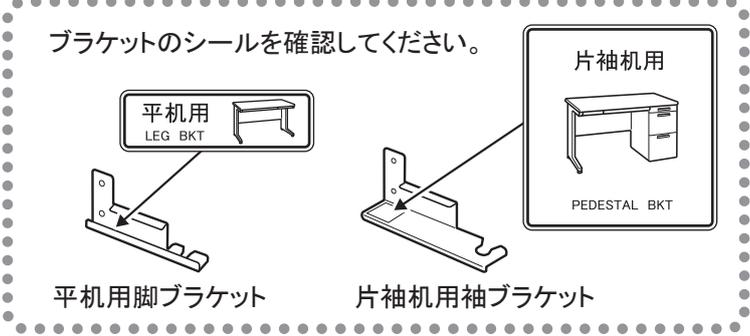
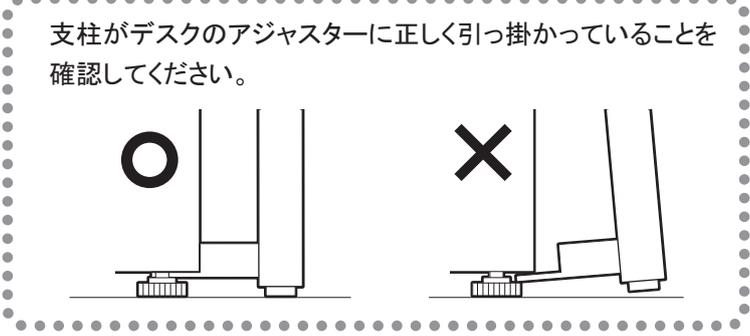


サイドカバーを取り付けます。



両面タイプの組み立てはこれで終了です。

組み立てられないときは

不具合内容	確認事項	参照ページ
支柱がアジャスターに引っ掛からない	<p>① デスクのアジャスターは、あらかじめ5mmほど伸ばしていますか？</p> <p>② 左右の支柱が間違っていないか？ 右支柱はデスクの種類によって脚ブラケットの種類が異なります。</p> <p>ブラケットのシールを確認してください。</p>  <p>平机用脚ブラケット 片袖机用袖ブラケット</p>	<p>5ページ 6ページ 1-①</p>
天板ブラケットのネジ穴の位置が合わない	<p>① デスクのアジャスターにきちんと引っ掛けていますか？ アジャスターの引っ掛ける部分を確認してください。</p> <p>② 支柱のアジャスターをデスクの高さに合わせていますか？ アジャスターを調整して、デスクと高さを合わせてください。</p> <p>支柱がデスクのアジャスターに正しく引っ掛かっていることを確認してください。</p> 	<p>6ページ 1-② 6ページ 1-②</p>
前面パネルのネジ穴の位置が合わない	<p>前面パネルの前後上下は間違っていないか？ 前面パネルの向きを確認してください。</p>	<p>8ページ 2-①</p>
上部ビームのネジ穴の位置が合わない	<p>天板ブラケット、前面パネルのネジを緩め、仮留めにしてください。</p>	<p>7、8ページ 1-② 2-③</p>
棚板が取り付けられない	<p>① 左右のブラケットの高さは同じですか？</p> <p>② 左右の支柱の高さは同じになっていますか？ アジャスターを調整して支柱とデスクの高さを合わせ、水平にしてください。</p> <p>③ 棚板の前後上下を確認し、取り付ける順序を確認してください。</p>	<p>10ページ 7-① 9ページ 5 10、13ページ</p>
全体にネジ穴の位置が合わない	<p>仮留めや本締めは、下から順番に締めていくことが重要です。 組み立てのながれと本締めをする順序を確認してください。</p>	<p>5ページ 9ページ 4</p>

※上記で解決されない場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

末永くお使いいただくためのお願い

下記事項をお守りにならなかった場合には、不具合が生じる場合があります。また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

ご使用上の注意とメンテナンスについて

- 使用中にボルトやネジの緩みによるガタツキが生じた時は、必ず増締めをしてください。
- 刃物等の鋭利な物を天板上で直接ご使用にならないでください。傷・破損の原因となります。
- 直接熱いものを置かないでください。コゲ跡がつく場合があります。
- 湯気が当たる場所での使用は避けてください。サビの原因となります。
- 水に濡れた時は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- お茶・コーヒー・洗剤・薬品などをこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。
- この組立・取扱説明書をいつでも取り出せるよう大切に保管してください。
- こまめに、メンテナンスしながらお使いいただくのが製品を長持ちさせる秘訣です。保証期間終了後は早めに点検と修理(有償)を弊社にご用命ください。

お手入れについて

日常のお手入れ

- 日常のお手入れは、必ず乾いた柔らかい布で行なってください。

お手入れの際のご注意

- 市販のクリーナーなどをご使用の際は目立たない部分で変色などが無いことを確認してからご利用ください。

著しく汚れた場合のお手入れ

- 柔らかい布をうすめた中性洗剤溶液(1~3%)に濡らし、強く絞ってよく汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないように乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

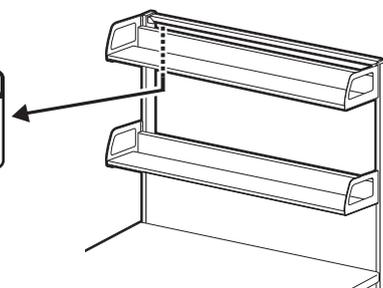
主な材質と表面仕上げ

部位	主な材質	表面仕上
本体	スチール	メラミン焼付け塗装

※ 製品の仕様については、改良のため予告なく変更を行なう場合がありますのでご了承ください。

製品番号とJOIFAラベル

本製品には製品番号などを記載したJOIFAラベルが貼ってあります。お問い合わせや同一製品を再注文される際にご確認ください。



保証の明細

保証には、購入履歴(購入年月日・購入者名・販売店名)を提示いただく必要があります。
領収書など購入履歴が分かるものを大切に保管し、修理はお買い上げの販売店にお申し付けください。

【保証する項目について】

この製品の保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)の「オフィス家具-製品安全基準のガイドライン」に基づいております。特別な定めがある場合以外、通常の状態で使用された場合、3つの種別ごとに(お客様ご購入の日から)1年・2年・3年としております。

外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年 ※1

※1 一部の製品では、構造体の保証を8年としているものがあります。

注)上記の保証期間は、一般のオフィスにおいて、通常の執務状態(1日8時間程度)で使用した場合を想定して定めたもので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での保証期間ではございません。

家具の無償保証は一般的に、通常の補修(メンテナンス)が行なわれていることが前提となります。

※ 保証期間中の製品不具合については、部品の交換等の修理にて対応させていただきます。

※ 保証期間経過後の修理は、有料にて承ります。(経過後の点検・修理は、製品を保有される方に実施責任があります。)

※ 保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- ・購入履歴(購入年月日・購入者名・販売店名)を提示いただけない場合。
- ・製品コードラベルの剥離、汚損などにより、型式、ロット等の識別ができないもの。
- ・弊社発行の説明書に従って組み立てていない製品の故障及び破損。
- ・弊社発行の取扱説明書・商品添付ラベル等に従って使用されていない製品の故障または破損。
- ・使用方法において、お客様の過失が認められる場合。
- ・中古品・譲渡品・個人売買品、及び購入日、購入先が不明な商品の故障または破損。
- ・消耗品(キャスター・肘パッド脚端及びフェルト・電池・電球・バッテリー等)
- ・異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用、保管による故障または破損。

- ・天然材料(木・革・その他)における色目、木目・節・しわ・傷等の質感の違い。
- ・表面素材(張地・樹脂・塗装・その他)における色目・縫い・光沢等の質感の違い。
- ・弊社に責のない外部要因(天災地変・火災・異常電圧等)に起因する故障及び破損。
- ・通常使用により生じる接触や摩耗による変色・褪色・異音・変形・キズ・錆・カビの発生等。
- ・使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化。
- ・可動部の動作音(椅子のリクライニング等)。
- ・日本国以外で使用する場合。(公海上を含む)
- ・設置後の移動による故障及び破損。
- ・お客様の運搬による故障及び破損。

【修理用部品の保有期間について】

製品の製造中止後5年間とさせていただきます。但し、単一部材で構成される製品や、適正な価格、納期でお客様に供給できない部品は、除外させていただきます。

JOIFA標準使用期間について

日本オフィス家具協会(JOIFA)では、消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なく、ご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。

この期間に注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると、摩耗や経年変化による故障が増大することが考えられます。

その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用していただくか、ご使用に耐えない場合には買い替えをお勧めさせていただく場合もあります。

詳しくは、日本オフィス家具協会(JOIFA)ホームページを、ご覧ください。

<http://www.joifa.or.jp>

製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。

廃棄の際は、法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。

廃棄に関するご質問は、管轄する地方自治体に、お問合せください。

VILLAGE

株式会社オカムラ

横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル
<http://okamura.co.jp>

修理に関するご用命は

オカムラサポートアンドサービス

フリーダイヤル ☎ 0120-448-105

受付時間 24 時間受付 (無休)

製品に関するご質問は

お客様相談室

フリーダイヤル ☎ 0120-81-9060

受付時間 9:00-17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際、あらかじめ製品番号をご確認いただけると、ご案内がスムーズです。